

ラハフ・シャニ指揮

第11回 名古屋クラシックフェスティバル

イスラエル・フィルハーモニー

管弦楽団

庄司紗矢香 ヴァイオリン

若き俊英が名オーケストラに
吹き込む新しい息吹!

©Laura Stevens

©Marco Borggreve

ツヴィ・アブニ
Tzvi Avni

祈り
Prayer for String Orchestra

ベートーヴェン
L.v.Beethoven

ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 op.61
Concerto for Violin in D major op.61

ベートーヴェン
L.v.Beethoven

交響曲 第7番 イ長調 op.92
Symphony No.7 in A major op.92

2023年

11月25日(土) 愛知県芸術劇場コンサートホール

開場 18:15

S ¥29,000 A ¥25,000 B ¥19,000 C ¥14,000 D ¥9,000 学生(抽選) ¥3,000(税込) ※未成年のご入場はご同伴の場合でもお断りいたします。

開演 19:00

学生券 26歳以下 学生証提示 中京テレビクリエーションHPよりエントリー後抽選。詳しくは<https://cte.jp/gakusei/>をご覧ください。【一般席と並びご購入されたい場合】公演1ヶ月前に残席がある場合に限り、並びでご予約いただけます。詳しくは中京テレビクリエーションまでお問い合わせください。

プレイガイド

一般発売
6月2日(金)
11:00~

- Chu チケ: 052-308-8282 (平日11:00~17:00) <https://cte.jp/41cf/>
- チケットぴあ: <https://t.pia.jp/> (Pコード:240-453)
- 芸文プレイガイド: 052-972-0430



主催: CHUKYO TV 後援: イスラエル大使館 ISRAELIS

お問い合わせ: 中京テレビクリエーション
052-588-4477 (平日11:00~17:00)

※出演者、曲目等変更になる場合がございます。予めご了承ください。

メータ、バレンボイムの薫陶を受け、2020/21年シーズンに音楽監督に就任したラハフ・シャニ。2018年、ロッテルダム・フィルハーモニーの楽団史上最年少首席指揮者となり、2026年にはミュンヘン・フィルの次期首席に就くことも決まっている。現在34歳、才能ひしめく若手指揮者の中でいま最も聴き逃せない、指揮界期待の星！巨匠ズーピン・メータが50年以上に渡り築き上げてきたイスラエル・フィルと、若き俊英とが創り出す響き！ヴァイオリンには、楽団側が共演を強く推したという庄司紗矢香。この秋、数多くのオーケストラの来日公演を行うなか、ひと際、光り輝くでしょう！

ラハフ・シャニ

指揮・イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団音楽監督

1989年イスラエル生まれ。6歳よりピアノを学ぶ。ハンス・アイスラー音楽大学でピアノと指揮を学び、バレンボイムに才能を認められると、2013年グスタフ・マーラー国際指揮者コンクールで優勝。15年にウィーン・フィル定期にデビューしてセンセーショナルな成功を収め、17年よりウィーン交響楽団首席客演指揮者、18年より過去最年少でロッテルダム・フィル首席指揮者を務め、26年よりミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者就任予定。これまでにウィーン・フィル、ベルリン・フィル、バイエルン放送響、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、シュターツカペレ・ドレスデン、ロンドン響、チェコ・フィル、バリ管、ボストン響などに客演。イスラエル・フィルとは、2007年にズーピン・メータの指揮のもとソリストとしてデビューして以来、指揮とピアノで共演を重ねている。13年の開幕演奏会、16年の楽団創立80周年記念の最終公演の指揮を経て、20年に音楽監督に就任。

Lahav Shani

庄司 紗矢香

ヴァイオリン

1999年にバガニーニ国際ヴァイオリン・コンクールで最年少および日本人として初めて優勝。ユーリ・テミルカーノフ、ズーピン・メータ、マリス・ヤンソンス、パーヴォ・ヤルヴィなどの指揮者や、サンクトペテルブルク・フィルハーモニー交響楽団、NHK交響楽団、サンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団といった世界を代表するオーケストラと共演を重ねている。近年では、フィルハーモニア管との英国、イタリア、日本ツアーに参加、クレーヴランド管弦楽団、BBCプロムスにとデビューした。また2022年9月にはラハフ・シャニ指揮するイスラエル・フィルのシーズンオープニングコンサートにソリストとして出演し、成功を収めた。

使用楽器は上野製薬株式会社より貸与された1729年製ストラディヴァリウス“レカミエ(Recamier)”

Sayaka Shoji

イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団

イスラエルの音楽界をリードしてきたイスラエル・フィルハーモニー管弦楽団は、1936年、欧州各国から集ったユダヤ人音楽家たちを結集させ、プロニスラフ・フーベルマンにより、バレスチナ管弦楽団として設立された。1948年のイスラエル建国に伴い、イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団と改称した。最初の演奏会はトスカニーニの指揮による。以来モントゥー、ミトロプーロス、ストラヴィンスキー、クーベリック、チェリビダッケ、ショルティ、ジュリーニ、アバド、マゼールら、錚々たる指揮者たちと共演の歴史を積み重ねている。

とりわけ、40年以上にわたって桂冠指揮者をつとめたレナード・バーンスタイン、50年以上にわたって音楽監督として楽団を率いたズーピン・メータとは、ウィーン・フィルやベルリン・フィルを凌いで世界随一との名声を確立している。2020年より楽団史上最初のイスラエル出身の音楽監督として俊英ラハフ・シャニを迎え、群雄割拠ひしめき合うオーケストラ新時代を切り開く存在としてひとときわ燦然と輝く存在している。



Philharmonie